



【典礼部だより】聖年について②～「免償」って何？～

2025年の通常聖年公布の大勅書『希望は欺かない』は、最初の1章と「希望のことば」「希望の道」「希望のしるし」「希望を求める訴え」「希望に錨を下ろして」の5部、全25章で構成されています。そして、本文中10か所に『いつくしみという聖年の恵み』の現れである「免償」ということばが出てきます。

免償とは「罪科としてはすでに赦免された罪に対する有限の罰の神の前におけるゆるし」（『カトリック教会のcatechismus』1471項）です。「え、ゆるしの秘跡で罪はゆるされるのじゃないの？」と思う方は多いでしょう。

『希望は欺かない』で前の教皇様は『ゆるしの秘跡は、神がわたしたちの罪を消し去ってくださることを確約しています』『そのゆるしを深く味わうことこそ、神を知るいちばんの方法です』とし、同時に『しかしながら、個人的経験で知っているように、罪は「痕跡を残し」、結果を伴います。罪は、犯した悪の結果として外に影響を与えるだけでなく、内にも影響を及ぼします。というのも「小罪も含めたすべての罪は被造物へのよこしまな愛着を起こさせます。人はこの愛着から、この世あるいは死後、清められなければなりません。死後の清めの状態は煉獄と呼ばれます」』ともおっしゃっています。

例えば誰かを傷つけたとき、ゆるしの秘跡で罪がゆるされても、その誰かの痛みは残り、「何てことをしてしまったんだろう」という苦い思いも残ります。免償は、こうした「罪の痕跡」「有限の罰」（「有限」は大罪により永遠のいのちを受けられなくなる「永遠の罰」との対比）からわたしたちを解放するもので、その解放が全面的か部分的かによって全免償と部分免償に分けられます。

聖年では、「ゆるしの秘跡」「聖体拝領」「教皇の意向のための祈り」という3条件を満たし「教会が定めたわざ（聖なる巡礼・巡礼所への聖なる訪問・慈善と償いのわざ）」のどれかを果たした信者に全免償が与えられます。

そして免償の恵みは、この世を旅する（希望の巡礼者である）わたしたちが、キリストや諸聖人たちとともに聖徒の交わり（「使徒信条」にあることばですね）の中にあることによって分かち合われます。その交わりの中には煉獄にある人々もいますから、わたしたちは自らのためだけではなく、亡くなった方のためにも免償を受けることができます。

ぜひ一度『希望は欺かない』を読んで、『いつくしみという聖年の恵み』について考えていただければと思います。

【広報部特別企画】祝・叙階60周年 ドネガン神父様インタビュー

6月29日・聖ペトロ 聖パウロ使徒の日に、ドネガン神父様の叙階60周年記念ミサが捧げられました。神父様は1965年に来日、日本語を習得したのちビファー神父様の助手として水戸教会に派遣され、72年まで5年間、勝田教会の責任者を務められました。2012年、再び水戸教会に赴任、主任司祭として24年まで12年間勤務されています。ミサ後のパーティーの合間にをぬって、60年間の思い出などをうかがいました。(聞き手:〇〇)

——60年間でいちばん印象に残っているのは?

ドネガン神父(D) 前の(前の前の)教皇様、ヨハネ・パウロ2世が日本に来たとき、東京の後楽園球場でミサがありました。すごく感動しました。それを今でも覚えていますね。

——水戸教会で印象に残っていることは?

D いっぱいあるよね。17年間ね。若いときの山田神父さんの叙階式、みんなが一生懸命準備して、すごくいいことだと思いました。それから、信者の〇〇さんが祭壇を作ったときに、彼は祭壇と朗読台と、私のオフィスの椅子も全部作ってくれました。

【総務部より】パーティー協力の御礼

先の4月20日・復活祭のパーティーでは東・西地区が、6月29日のドネガン神父様叙階60周年記念では北・南地区が料理を担当くださいました。6月29日は会場設営と進行係を国際部が、駐車場係を広報部が担当され、パーティーではフィリピン・インドネシア・ベトナム共同体の多国籍料理やパフォーマンス、こじかクラスのかわいいお祝いも加わり、国際色あふれる楽しい集いとなりました。改めて皆さまのご協力に感謝申し上げます。



あとは、水戸のシスターたちと同じ教会で奉仕する恵み。私たちは毎朝ミサで共に祈り、教会や幼稚園で共に働きました。その祈りの効果を実感し、祝福されました。

——水戸教会のみなさんに一言お願いします。

D 水戸教会のみなさんは、みんな歳を取らないように見えます。みんなが昔のように仲良くしていたままで歳を重ねていってほしいです。水戸教会のみなさんは、聖家族の下で教会を支える基盤です。家族のような集い、典礼、教会の音楽、そして人々の友情が、私の最も大切な思い出です。神に感謝します。

——ありがとうございました。

【聖年の巡礼 参加者を募集中!】

◇日時: 10月11日 (土)

◇行先: 松が峰教会(栃木県宇都宮市) および太田教会(群馬県太田市)

◇くわしくは聖堂内チラシを参照のこと

【東門改修のため、ぜひ献金を!】

教会東門の拡張工事について、水戸教会として献金〇万円+教会財務〇万円=〇万円を負担したいと考えています。献金のための封筒が用意しておりますので、ぜひご協力をお願ひいたします。